

第 13 回伊那新校再編実施計画懇話会

日時：令和 4 年 10 月 7 日（金）

18 時～19 時 30 分

会場：ニシザワいなっせホール

<次 第>

1 開 会

2 挨 拶

3 会議事項

（1） 報告

- ① 第 12 回伊那新校再編実施計画懇話会まとめ
- ② 両校からの近況報告
- ③ NSD プロジェクトの進捗状況について
- ④ 校名検討の今後の進め方について

（2） 意見交換

- ① 校名検討について
- ② 伊那新校の学びについて

（3） その他

4 その他

- 次回伊那新校再編実施計画懇話会（開催日時等は、改めて連絡）

5 閉 会

第12回伊那新校再編実施計画懇話会まとめ（案）

日時・会場	令和4年（2022年）7月6日（水） 18時00分～19時00分 長野県伊那合同庁舎講堂
出欠席	懇話会構成員23名出席、欠席者4名（田中 章、田畑和輝、唐澤利海、杉本穂波） 事務局（県教委：山岸主幹、田中主任指導主事、石井主事、 伊那北高校4名、伊那弥生ヶ丘高校4名）
傍聴者	傍聴17名（オンライン含む）、報道4社
会議事項	1 座長選出 2 会 議 （1）第11回伊那新校再編実施計画懇話会まとめ （2）高校生からの意見について （3）NSDプロジェクトについて （4）校名検討について （5）意見交換（グループ討議） 3 連絡事項 次回開催日時等は、改めて連絡
当日資料	第12回懇話会次第、令和4年度伊那新校再編実施計画懇話会構成員名簿、第11回懇話会まとめ、NSDプロジェクトkick off シンポジウム報告資料、第1期高校再編時の校名選考について、伊那新校 校名選考の進め方について、将来の教育を考える意見交換会実施報告

主な意見及び発言（⇒県からの回答）

【高校生からの意見について】

- 多様な進路に対応したよりよい地域との連携を考えてほしい。
- 柔軟な選択科目の選択の仕組みと進路についてのサポートを考えてほしい。
- ICT機器の充実や活用を進めてほしい。
- 海外との交流を取り入れてほしい。
- 高校生の意見を吸い上げてほしい など
⇒高校生の意見を積極的に取り入れていくとともに、引き続き高校生との意見聴取の工夫をしていく。

【NSDプロジェクトについて】

- ・NSDプロジェクトKickOff シンポジウムの動画での振り返りと概要についての報告。
- ・7月末にプロポーザル公告、一次、二次審査の上、11月中下旬の予定で業者が決定していくと説明。
- 学ぶ子どもたちの姿はどのような想定か。また、新校で身に付ける力や新校の目指すものは何か。
⇒新校の目指す姿や子どもたちの学ぶ姿の想定については、再編実施基本計画の中で、自らの可能性を切り開いて夢の実現に果敢に挑戦する高校として学校像を示している。また、育てる生徒像も再編実施基本計画の中で示しており、個人と社会のウェルビーイングというものを大枠として目指している。
- 建築との関わりはどうか。
⇒伊那新校での学びから必要とされる空間が決まっていく。設計に向けて話し合いを重ねていく。

【校名検討と進め方について】

校名選考の時期について

- 決定の時期は早いほうがよいのではないか。公募したらすぐに決めていく方がよいと思う。
- 募集するに当たって新校が目指しているもの、何をやるかとしているかが具体的に示されない状況では時期尚早ではないか。具体的なことを示してから校名の募集で良いのではないか。

募集の観点について

- 伊那北高校、伊那弥生ヶ丘高校にとらわれず、新たな校名を考えていきたい。
- 地域の思い、両校の伝統を感じられるような校名、地域をイメージできる校名がよいのではないか。
- わかりやすく100年経っても使用できるシンプルな校名、格式のある校名がよいのではないか。
- 若い人たちの声を聞きながら考えていくのがよいのではないか。
- 校名として除外する観点を決めておくとういと思う。 など

第12回伊那新校再編実施計画懇話会（R4. 7. 6）

校名検討について グループ討議記録

グループで出た意見	
1	<p>○校名選考の時期について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>地域への周知のためにも早めに決めた方が良い。2年位で。</u> ・ <u>2年位での決定が良い。応募対象者は誰か？</u> ・ <u>応募範囲は全国？県内？上伊那地区？</u> ・ <u>応募者は成人に限定するのか？子どもたちも含むのか。子どもの1票は1票と数えるのか。団体での投票は認めるのか？認めた場合何票とするのか。</u> ・ <u>子どもたちに、自分たちが将来通う学校の名前を決めさせるのが良いと思う。</u> <p>○募集の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ダメな校名」「入れてはいけない言葉等」をはっきり提示すべき。例えば漫画に出てくる名前とか。 ・ キラキラネームも不可。 ・ 校名はどうやって決めるのか？懇話会で決めるのか？ ・ 通学区の特徴を表す校名。地域が想像できる校名。 ・ <u>地域の思いを含む名前。伝統を感じられるような校名。</u>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ わかりやすい「伊那」は外せない。 ・ 履歴書に書く場合にはずかしくない校名 ・ 地域の名前が入っていた方が、部活の大会等で表記しやすい。 ・ 県ヶ丘→県陵のように風土が表れている方が親しみが湧く。 ・ <u>歴史・格式のあるしっかりとしたイメージの名前。</u> ・ <u>校名選考こそ高校生がガンガン関わるべき（自分事として）。</u> ・ 校歌を King Gnu に依頼、盛り上がる。 ・ <u>校名として除外する観点を決めておく</u>と高校生も考えやすい。 ・ 「伊那」を入れると決めておく。
3	<p>○募集の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域にふさわしい校名（地域色）。 ・ 長野県の高校だとわかる方が良いのでは。 ・ 学びの特徴を表したような校名。 ・ 信州伊那高校、伊那高校、など、将来のことも考えて、わかりやすくシンプルに。 ・ いろいろと言葉をつけるより、普遍的に残していける校名。 ・ 第1期にでてきたような校名から脱して、将来を見据えた校名。 ・ <u>100年後も違和感なく残っていくもの。</u> <p>○校名選考の時期について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あまり先に持っていく必要はないのでは？（全員一致） ・ <u>公募が終わったらすぐに決めていく方が良い。</u>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>伊那北、伊那弥生ヶ丘の名前にとらわれない方が良い。</u> ・ この地域の名前をとるのが良い。 ・ こだわりはないが、現在の両校とも地域の名前がある。 ・ 「伊那」が入った方が良い。 ・ 学びのコンセプト／箱
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>どういう高校を作るのか。公募するならもっと明確に材料提示を。</u> ・ 中身があつてのスクールデザイン・看板。 ・ 校名よりもっと先にやるべきことがあるのではないか。 ・ 学校像があまり見えていない。 ・ 中身がわからないと・・・ ・ <u>校名より先に中身を具体的に。両校に通う今の生徒たちが何を魅力にそれぞれの学校を選んだのか。</u>
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞いただけで学校がある地域がわかる校名が良い。 ・ 現在の校名も候補に入れておいた方が良い。 ・ 地域と旧校名がわかった方が良い。子どもたちの意見を聞きながら決めたい。 ・ 校名のカッコよさでなく、シンプルで場所がわかるものを。「伊那北」「弥生ヶ丘」のどちらかになるのは、消えた方の学校が寂しい。 ・ 校名への憧れは多少ある。 ・ 校名より、進学や部活動などの内容を重視して進学してくる生徒が多いのでは。 ・ 「令和」が校名に入っているのも良い。

伊那新校の校名検討についての今後の方針

令和4年10月7日

高校再編推進室

伊那新校準備委員会

＜第12回懇話会での進め方についてのご意見＞

- 決定の時期は早い方がいい。
- 県の示すスケジュール通りでよい。公募したらすぐに決めていくほうがよい。
- 校名より、中身が大事ではないか。
- 募集するに当たって新校が目指しているもの、何をやろうとしているかが具体的に示されない状況では時期尚早ではないか。具体的なことを示してから校名の募集が良いのではないか。

＜第12回懇話会での校名の選考観点に関するご意見＞

- 伊那北高校、伊那弥生ヶ丘高校にとらわれず、新たな校名を考えていきたい。
- 地域の思い、両校の伝統を感じられるような校名、地域をイメージできる校名がよいのではないか。
- わかりやすく100年経っても使用できるシンプルな校名、格式のある校名がよいのではないか。
- 若い人たちの声を聞きながら考えていくのがよいのではないか。
- 地域を大切にす観点から、地域が想像できないような校名はふさわしくないのではないか。
- 校名として除外する観点を決めておくとよいと思う。

＜事務局での検討結果＞

情報発信の視点から、できるだけ早く校名を決定したいとの考えは変わらないが、教育内容について共有なイメージを持てるようになってからでも遅くないと判断し、校名の公募等については一旦先送りにしたい。要項の検討については、これまで出ている意見を大切にしつつ、事務局での検討を継続していき、改めて提案したい。

伊那新校の学校像

自らの可能性を切り拓き、夢の実現に果敢に挑戦する高校

目指す学校像

- 「探究」を核とした学びを通して、自己実現と社会貢献を目指す
- 他者との協働を通して、多様な価値観を共有し人間性を育む
- 自主的な活動や創造的な活動を通して、主体性を育む

新たな学びに対応したシステム

「探究」をベースにした教育活動

個別最適な学びを実現する“単位制”

文理融合した学び・教科横断型授業の展開

大学・研究機関・企業・自治体などと協働した学び



1年次：必履修科目を中心に履修

2・3年次：自分の学びを自分でデザインし、履修する科目を選択

普通科

探究を核として持続的な学びを実現する学科

- 地域課題を基に日本、世界に目を向け、これからの社会の核となる人の育成を目指す
- ◇ 地元自治体など、コンソーシアムとの連携による、ローカルな視点とグローバルな視点で行う探究活動
- ◇ 自らの興味関心や進路希望に応じて選択ができる多様な科目の設置

特色学科

高度な探究により、卓越した学びを実現する学科

- 学問の真理を追究する意欲、社会の課題解決への挑戦心や使命感を持つ人の育成を目指す
- ◇ 大学・研究機関をはじめ、コンソーシアムとの連携による、応用的・発展的な探究活動
- ◇ 課題研究や先進的な探究を行う科目、高度な内容を扱う科目などの設置

連携・協働

上伊那共学共創コンソーシアム

多様な人々と学び合い、地域課題の解決や地域の活性化・イノベーションの創出を目指すコミュニティ



医療機関



大学



企業



自治体



国際機関



上伊那広域連合

等

伊那新校 懇話会での意見

令和4年10月7日
 高校再編推進室
 伊那新校準備委員会

カテゴリ	項目	期日	主な意見	県教委が示した方向性
学校運営	学校目標			
学校運営	教育方針			
学校運営	校名	22/07/06	<ul style="list-style-type: none"> ○校名検討の進め方 <ul style="list-style-type: none"> ・決定の時期は早い方がいい ・新校が目指しているものが示されていない状況では、時期尚早ではないか。 ○校名の選考観点 <ul style="list-style-type: none"> ・統合前の高校名にとらわれない新たな名称 ・地域の思い、両校の伝統を感じられるような校名 ・地域をイメージできる校名 ・地域を大切にする観点から、地域が想像できないような校名はふさわしくない ・100年経っても使用できるシンプルな校名 ・格式のある校名 ・若い人たちの声を聞いて考えていくのがよい ・校名として除外する観点を決めておくがよい 	<p>学びの検討に合わせ、公募の時期は改めて検討するが、できるだけ早く決定する。</p>
学校運営	校歌			
学校運営	校章			
学校運営	服装			
学校運営	その他 (スクールカラー等)			
地域連携	地域			
地域連携	大学等・企業			
地域連携	小・中学校等			
地域連携	コンソーシアム			
地域連携	プラットフォーム			
進路・学習指導	単位制			
進路・学習指導	教育課程 (カリキュラム)			
進路・学習指導	総合的な 探究の時間			
進路・学習指導	課題研究			
特別活動	生徒会			
特別活動	部活動			
校舎・施設	NSDプロジェクト			
広報	地域向け広報			
高校生からの意見		22/07/06	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な進路に対応したよりよい地域との連携を考えてほしい ・新しい学びやICT活用についての先生方の研修の仕組みを考えてほしい ・柔軟な選択科目の選択の仕組みと進路についてのサポートを考えてほしい ・ICT機器の充実や活用を進めてほしい ・生徒会のさらなる充実を期待したい ・海外との交流を取り入れてほしい ・高校生の意見を吸い上げてほしい 	<p>高校生の意見を学校運営や教育課程の編成に積極的に取り入れていくとともに、引き続き高校生の意見を聞く方法の工夫をしていく。</p>

事務局席

県教委
宮澤室長
山岸主幹
田中主任
石井主事

伊那北
倉澤教頭

事務局席

伊那北
倉石教諭
桐生教諭
齋藤教諭

伊那弥生
佐々木教頭
春日教諭
竹松教諭

演台

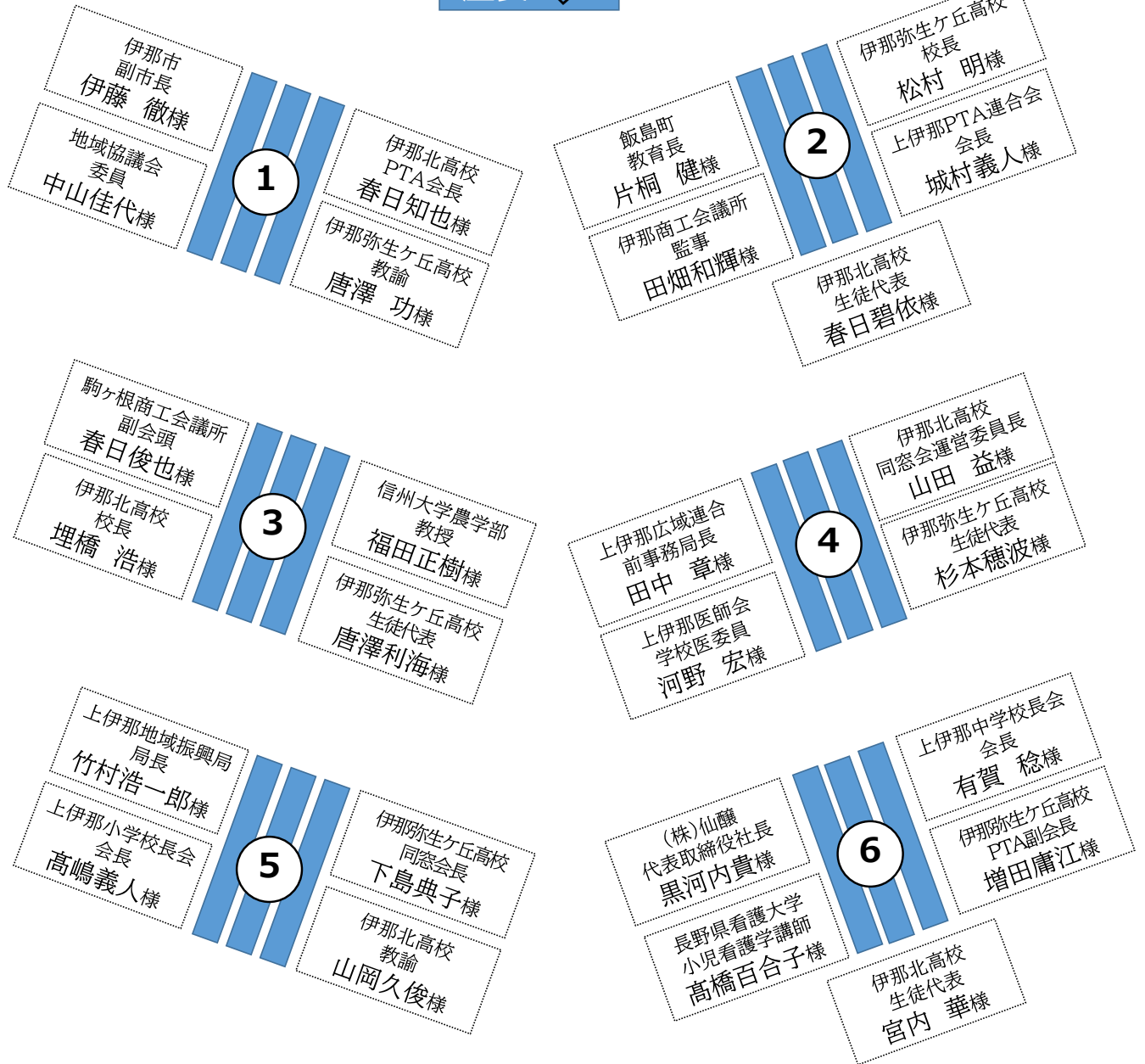
スクリーン

オンライン配信
システム

駒ヶ根市
教育長
本多俊夫様

座長

事務局席 原教諭



報道席

傍聴席

第13回伊那新校再編実施計画懇話会（R4.10.7）

意見交換ワークシート

高校再編推進室

新校準備委員会

構成員氏名： _____

※このシートは、懇話会終了時に事務局員にご提出ください。

<校名検討について>

- 校名を募集する「募集の範囲」についてのイメージ
（例えば、上伊那、長野県、全国などのエリアの範囲や対象の範囲について）

<伊那新校の学びについて>

- 「魅力的な先進的な個別最適化された学び」と「地域連携」について